

令和4年度京都大学公共政策大学院

入学試験問題（一般選抜）

# 科目名：比較政治

この表紙の次には、以下の出題分野の試験問題が1ページに各2問ずつ、計2ページで4問ある。

1. 比較政治学
2. アメリカ政治

4問から2問を選んで解答すること。

1問につき、答案用紙1冊を用いて解答すること。

答案用紙ごとに、所定の欄に科目名、出題分野名、問題番号を記入すること。

科目名 比較政治 出題分野名 比較政治学

**問題1** 民主政治（デモクラシー）と議会制の関係について、議会制はどのような点で民主政治の実現にとって必要な制度であると言えるのか、またどのような状況において民主政治と緊張関係に立つものと考えられるか、具体的事例に触れながら、できるだけ多角的に論じなさい。

**問題2** 以下の問いから1問を選択し、解答しなさい。解答の冒頭に選択した番号を必ず明記すること。

- (1) 国家とはどのような手段によって、どのような利益の実現を目指す組織であると考えられてきたか、相異なる見解を複数とりあげ、それぞれの特徴と相違点について説明しなさい。
- (2) 近年ヨーロッパ諸国において欧州統合にたいする強い懸念や懐疑が示される背景として何が考えられるか、かならず欧州連合からの英国の離脱に言及して、できるだけ多角的に論じなさい。

科目名 比較政治 出題分野名 アメリカ政治

**問題1** 大統領制の国際比較に関するシュガート (Matthew S. Shugart) らの分析枠組みがいかなるものであるかを述べた上で、そこから導かれるアメリカ大統領制の特徴について、できるだけ多面的に論じなさい。

**問題2** 以下の問いから1問を選択し、解答しなさい。解答の冒頭に選択した番号を必ず明記すること。

(1) アメリカ連邦議会に関する「条件付き政党政府論」とはいかなる考え方であるかを述べた上で、「条件付き政党政府」であることが立法過程に与えた影響について、実際の歴史的变化を踏まえて多面的に論じなさい。

(2) 1973年戦争権限法とはいかなる内容の立法であったかを述べた上で、この法律がアメリカの政策過程における大統領と議会の関係に及ぼした影響について、できるだけ多面的に論じなさい。